


ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00~午後6:00)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルのご利
用はできませんのでご了承ください。



1 609 92A 3PB (2017.06)

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

コードレスハンマードリル
GBH 18V-20
GBH 18V-20H (本体のみ)



取扱説明書

このたびは、弊社コードレスハンマードリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
コードレス工具全般についての注意事項	2
ハンマードリルについての注意事項	9
充電器についての注意事項	16
●リサイクルのために	
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	17
●本製品について	
用途	18
各部の名称	18
仕様	19
標準付属品	20
●使い方	
バッテリーを準備する	21
作業前の準備をする	24
作業する	30
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	37
修理を依頼するときは	38
●お手入れと保管	
クリーニング	39
保管	40

ご安全上
注意の

のリサイク
ルのため

本製品に
ついて

使用方

困ったときは




お手入れと
保管

安全上のご注意

ご安全 注意の 意の

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになされた後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

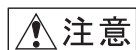
ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたコードレスハンマードリルには、当てはまらない項目も含まれています。

 **危険**

1. 専用のバッテリー以外を使用しないでください。

- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。

ご安全
注意の

工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。

2. バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。

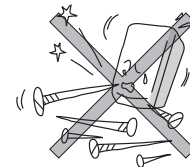


3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。

4. バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

5. バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。



6. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管しないでください。

発熱・発火・破裂の恐れがあります。

7. 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。

バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

 **警告**

ご安全
注意の

1. 正しく充電してください。

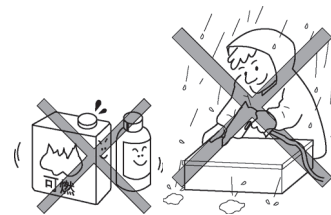
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 温度が0℃未満、または温度が45℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

2. 感電に注意してください。

- ◆ ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

3. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ コードレス工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。



4. 保護めがねを使用してください。

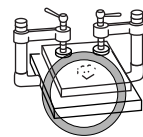
- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

5. 防音保護具を着用してください。

- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

6. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。



7. 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- ◆ 使用しない、または修理する場合。
- ◆ 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



ご安全
注意の

8. 不意な始動は避けてください。

- ◆ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ バッテリーを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。

9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。


- ◆ この取扱説明書、およびボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

10. バッテリーの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

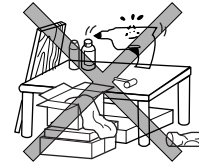
12. ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

 **注 意**

ご安全
注上
意の

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. **子供や補助を必要とする人、および本機の操作に知識のない人は、使用しないでください。**

3. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
- ◆ コードレス工具やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。

4. **無理して使用しないでください。**

- ◆ 安全に能率よく作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

5. **作業に合ったコードレス工具を使用してください。**

- ◆ 小型のコードレス工具やアタッチメントは、大型のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

6. **きちんとした服装で作業してください。**

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

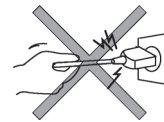


7. コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、またはポッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。



9. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。



10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。

- ◆ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外されていることを確認してください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

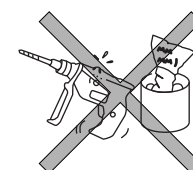
- ◆ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ コードレス工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

**13. 損傷した部品がないか点検してください。**

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- ◆ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ スイッチで始動、および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。

**14. コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。**

- ◆ サービスマン以外の方はコードレス工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ コードレス工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

ハンマードリルについての注意事項

コードレス工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、ハンマードリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

ご安全
注意の

警告

1. 作業の条件・内容を考慮して、目的に合った電動工具を用意し、アクセサリーを選定してください。
 - ◆ 目的に合っていない電動工具の使用は、事故やけがの原因となります。
2. 使用するバッテリーは、取扱説明書に指定してあるものを装着してください。
 - ◆ 指定外のバッテリーを装着すると、ハンマードリルに支障をきたすばかりでなく、発煙・発火の原因になります。
3. 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
4. 取扱説明書に記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
 - ◆ 発煙・発火の原因になります。
5. 疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、使用しないでください。
 - ◆ ハンマードリル操作中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

ご安全
注意の

6. 保護面や保護めがねなどの保護具を着用してください。必要に応じて、防じんマスクや防音保護具（耳栓など）、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、手袋、作業用エプロンを着用してください。
 - ◆ 防護用具を着用することで、けがの防止につながります。
 - ◆ 防音保護具（耳栓など）を着用することで、騒音による被害を防ぎます。（高強度の騒音に長い時間さらされると、難聴の原因となります）
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。ハンマードリルに集じん機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
 - ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。
8. この取扱説明書、およびボッシュカタログに記載されているアクセサリー以外は使用しないでください。
 - ◆ 指定されたアクセサリー以外は、安全に作業できない恐れがあります。
9. 先端工具を交換するときは、保護手袋を着用してください。
 - ◆ 長時間使用した先端工具は、熱くなります。
10. 使用に問題がないことを確認してください。取り付けは間違いないか、可動部分が正しくしっかりとセットされているか、各部品の損傷がないか、その他問題がないかチェックしてください。損傷などがあった場合は使用せず、修理をご依頼ください。
 - ◆ 多くの事故は、点検作業を怠ったときに起きています。
 - ◆ 損傷したハンマードリルを使用すると、故障や思わぬ事故の原因になります。
11. 加工材料は必ず安定性の良い台に置き、確実に固定してください。
 - ◆ 確実に固定されていないと、けがの原因になります。

ご安全
注上
意の

12. 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。必ず「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確かめた上で、バッテリーを取り付けたり、ハンマードリルを持ち上げたりしてください。
 - ◆ 安全ロックの位置（中央）になっていない状態でバッテリーを取り付けたり、スイッチ部分に指が触れたりすると、事故の原因になります。
13. 雨中での作業は行わないでください。また、ハンマードリルを雨ざらしにしたり、ぬれた場所に置いたりしないでください。
 - ◆ 感電の恐れがあります。
14. 可燃物の近くでハンマードリルを使用しないでください。
 - ◆ 火花で可燃物が発火する恐れがあります。
15. 先端工具類は手入れをし、鋭利さを保ってください。
 - ◆ 鋭利なら、ストレスなくハンマードリルがコントロールできます。
16. 作業中は、必ず絶縁されたグリップ面でハンマードリルを保持してください。
 - ◆ 通電している電線に接触し、ハンマードリルの金属部に電気が流れると、感電の恐れがあります。絶縁部で保持していると、感電する危険が小さくなります。
17. 作業中に振り回されないよう、ハンマードリルにしっかりとサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持して作業してください。
 - ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。
18. 作業中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ けがの原因になります。

19. 作業中にハンマードリルの調子が悪かったり、異常音がしたりしたときは直ちに「スイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
 - ◆ そのまま使用していると、けがの原因になります。
20. フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、ハンマードリルが冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、ハンマードリルに支障をきたすばかりでなく、ハンマードリルの温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
21. 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医師の診断を受けてください。
 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
22. バッテリーを乱暴に扱えば液漏れが発生する場合があります。その場合、直接手で触れないでください。誤って触れた場合は水で十分洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ◆ バッテリーから漏れた液は、炎症や火傷をもたらす恐れがあります。
23. 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、調整・付属品の交換・保管をするときは、必ずハンマードリルからバッテリーを取り外してください。
 - ◆ バッテリーを取り付けたままにすると、けがの原因になります。
24. 作業中は、関係者以外の人や子供を近づけないでください。
 - ◆ 気が散ると集中できなくなります。
25. 「電子無段変速スイッチ」を引き込んだまま、ハンマードリルを持ち運ばないでください。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。

26. 先端工具が完全に停止するまでは、ハンマードリルを床やテーブルなどに置かないでください。

◆ 先端工具が回転していると、けがの原因になります。

27. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、先端工具やハンマードリルなどに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

28. 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から発生する粉じんは、健康に悪影響を与える恐れがあります。作業者や見学者が粉じんを触ったり吸い込んだりすると、アレルギー反応、あるいは呼吸器感染症を引き起こす可能性があります。

特に桤材やブナ材から出る粉じん、木材処理添加物(クロム酸、防腐剤)は発がん性があると考えられています。

アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- ・ できる限り、材料に合った吸じん装置を使用してください。
 - ・ 作業場所の換気に注意してください。
 - ・ DS2クラス以上のフィルター付き防じんマスクの着用をお勧めします。
- ◆ 作業場で粉じんの堆積は避けてください。容易に発火する恐れがあります。

29. 使用しないときは、子供の手の届かない安全な場所に保管してください。また、ハンマードリルの取り扱いや手順に不慣れた人には操作させないでください。

◆ 教育を受けていない人の操作は大変危険です。

30. バッテリーを開けないでください。

◆ 短絡の恐れがあります。


31. バッテリーは、釘やドライバーなど、尖ったものや外からの強い力で傷つく場合があります。

◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。

32. バッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所や水気・湿気のある場所の近くに置かないでください。

◆ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。

ご安全
注意の

 **注 意**

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 作業直後の先端工具や切り粉などは高温になっていますので、触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ◆ 材料やハンマードリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。
5. 細径のビットは折れやすいので注意してください。
 - ◆ 飛散して、けがの原因になります。
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
7. コンクリートに穴あけを開始するとき、または軽破つりをするとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあります。
 - ◆ 保護めがねを着用してください。
8. コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあります。
 - ◆ 保護めがねを着用してください。

ご安全
注意の
上

充電器についての注意事項

ご安全
注上の
意の

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警告

1. 電源プラグに合った電源コンセントを使用してください。
電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。
 - ◆ 純正電源プラグに適合した電源コンセントを使用しないと、感電の恐れがあります。
2. 電源コードは乱暴に扱わないでください。
 - ◆ コードが損傷したりもつれたりしていると、感電の恐れがあります。
3. やむを得ず、湿気が多い場所で充電器を使用する場合は、漏電遮断器（RCD）を設置して給電してください。
 - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
4. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
5. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ◆ 爆発や火災の恐れがあります。
6. 充電器のバッテリー挿入部分には充電用端子があります。水や金属片などの異物を入れないでください。
7. 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
 - ◆ 火災の恐れがあります。
8. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
 - ◆ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

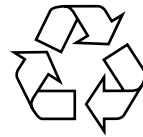
リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ポッシユは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ポッシユ電動工具取扱店、ポッシユ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

のリ
サイ
クル
に
め
く
た
す

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

本製品について

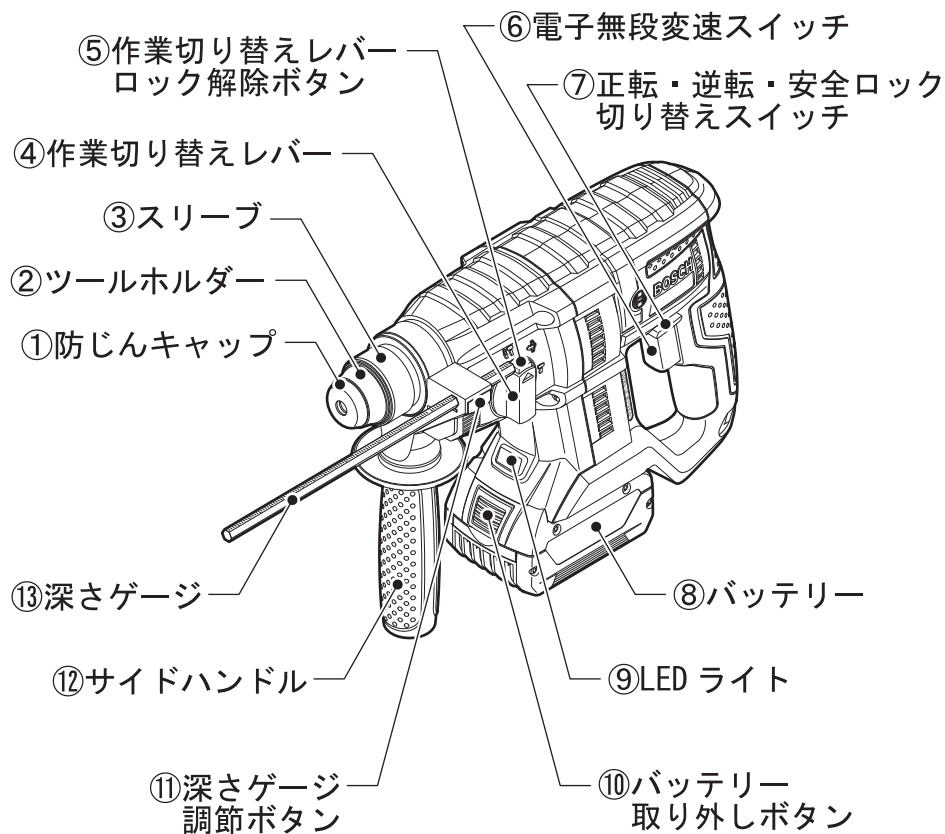
用途

- ◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ
- ◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ
- ◆ ネジの締め・緩め
- ◆ コンクリート、レンガなどの軽度な破つり

☞ LED ライト⑧の灯りは、作業を行う個所を照らすもので、家庭用の部屋の照明には適しません。

本製品について

各部の名称



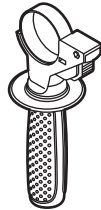
仕 様

型 番	GBH 18V-20 GBH 18V-20H (本体のみ)
定格電圧	DC18V
回転数 (無負荷時)	0~1800min ⁻¹ (回転/分)
打撃数 (無負荷時)	0~4550min ⁻¹ (回/分)
打撃力	1.7J (EPTA プロシージャー05/2015 に準拠)
穴あけ能力 (最大径)	
コンクリート	20mm φ
鉄 工	13mm φ
木 工	30mm φ
質量 (バッテリーを含む)	3.2kg (EPTA プロシージャー01/2014 に準拠)
サイドハンドル取り付け部径	50mm φ
充電可能温度範囲	0℃~+45℃
使用/保管可能温度範囲*	-20℃~+50℃
振動3軸合成値	
ハンマードリル時	12.6m/s ²
破つり時	10.9m/s ²
原産国	中国

つ本
製
い
品
てに

* 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

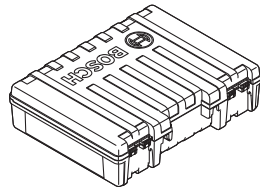
標準付属品



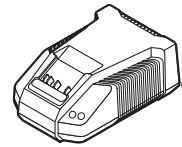
サイドハンドル



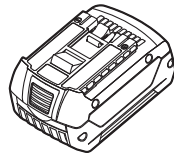
深さゲージ



キャリングケース



充電器 (AL1860CV)
(GBH18V-20 のみ)



リチウムイオンバッテリー
18V 5.0Ah (2個)
(GBH18V-20 のみ)

本製品
に
付属
品

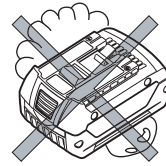
◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

使い方

バッテリーを準備する

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリーを充電する

充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

☞ リチウムイオンバッテリーは、バッテリー寿命に関係なくいつでも充電が可能です。また充電の中断がバッテリーにダメージを与えることはありません。

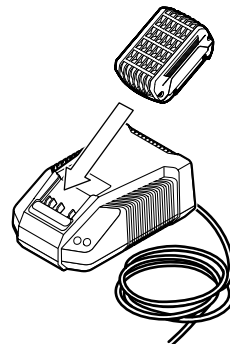


警告

- ◆ 破損防止のため、弊社指定の充電器を使って、バッテリー⑧を充電してください。
- ◆ バッテリー⑧が熱くなっているときは、冷ましてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。

☞ 充電しても極端に作業時間が短い場合は、バッテリー⑧が消耗しています。バッテリー⑧を交換してください。

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
2. 充電器にバッテリー⑧を差し込みます。
充電が始まります。
(『充電器の取扱説明書』参照)



3. 充電が終わったら、バッテリー⑧を充電器から抜きます。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ☞ 新品のバッテリー⑧や長期間使用していなかったバッテリー⑧は、バッテリー本来の能力を発揮させるために、1時間程充電してから使用してください。
- ☞ 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリー⑧の寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリー⑧と交換してください。

● バッテリーを取り付ける・取り外す

- 警告** ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロック（中央）”の位置になっていることを確認してください。

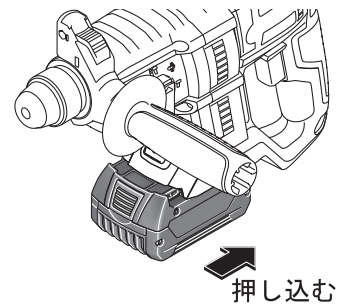
使
い
方

取り付け

バッテリー⑧を、ハンマードリル本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

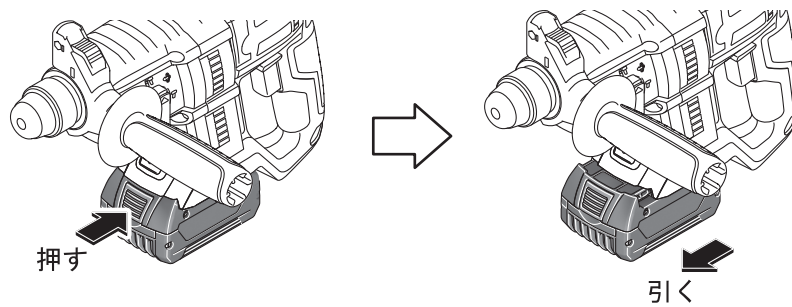
- ☞ 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑩」が押されただけではバッテリー⑧が外れないよう、バッテリー⑧の取り付けが二重ロックになっています。

- 注意** ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。



取り外し

「バッテリー取り外しボタン⑩」を押しながら、バッテリー⑧をハンマードリル本体から前方へ引き出します。



作業前の準備をする

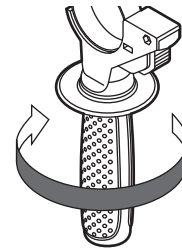
● サイドハンドルを取り付ける・取り外す

警告 ◆ けがの発生を防ぐため、サイドハンドル⑫を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑧をハンマードリル本体から取り外してください。

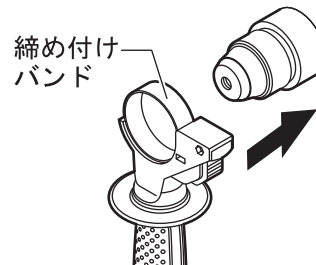
注意 ◆ 取り付けるときは、スリーブ③に触れないよう、しっかりと奥まで差し込んでください。スリーブ③に接触した状態で固定すると、スリーブ③が損傷します。

取り付け

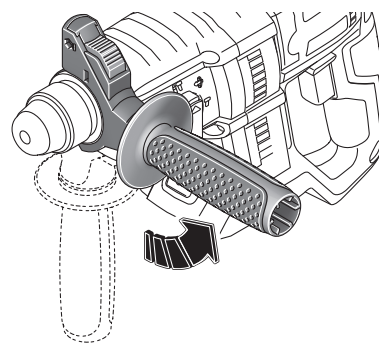
1. サイドハンドル⑫のグリップ部分を回して、サイドハンドル⑫の締め付けバンドを緩めます。



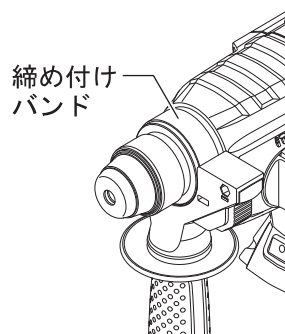
2. サイドハンドル⑫を本体に差し込みます。



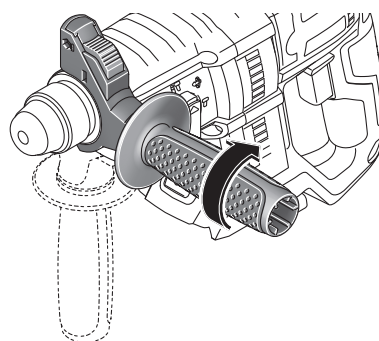
3. サイドハンドル⑫を回して、作業に適した位置に合わせます。



4. 締め付けバンドが、奥まではまっていることを確認します。



5. グリップ部分を回して、締め付けバンドをしっかりと締めます。締め付け後、ガタつきがないか確認してください。ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



- ☞ 作業に適した位置にサイドハンドル⑩を固定すると、作業中に安定した姿勢が取れ、疲労を減らすことができます。

使
い
方

取り外し

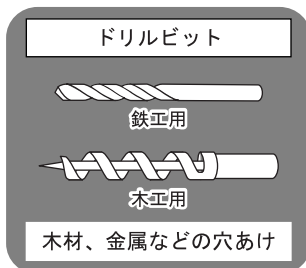
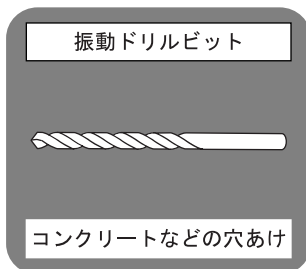
1. サイドハンドル⑩のグリップ部分を回して締め付けバンドを緩めます。
2. 本体からサイドハンドル⑩を抜き取ります。

● 先端工具を選ぶ

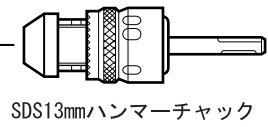
SDSプラスシャンクの先端工具



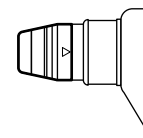
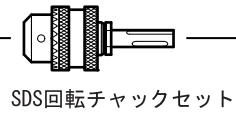
ストレートシャンクの先端工具



別売



別売



● SDS プラスシャンクの先端工具（または別売アクセサリ）を取り付ける・取り外す



警告

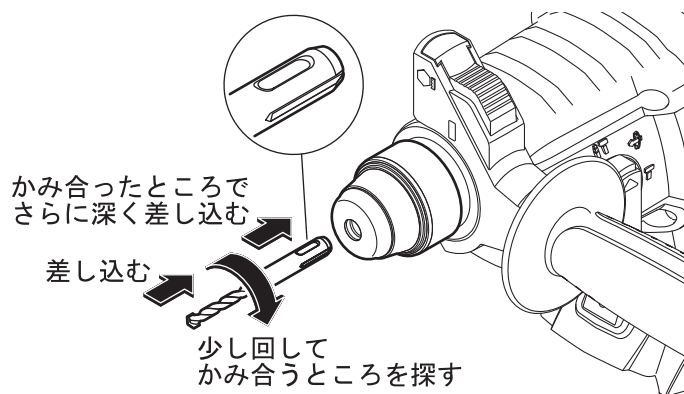
- ◆ けがの発生を防ぐため、先端工具を取り付けたり取り外したりするときは、バッテリー⑧をハンマードリル本体から取り外してください。



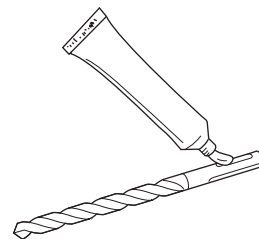
注意

- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。
- ◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 本体の故障を防ぐために、防じんキャップ①に異常がないか確認してください。損傷がある場合は交換が必要です。（「修理を依頼するときは」を参照してください）

取り付け



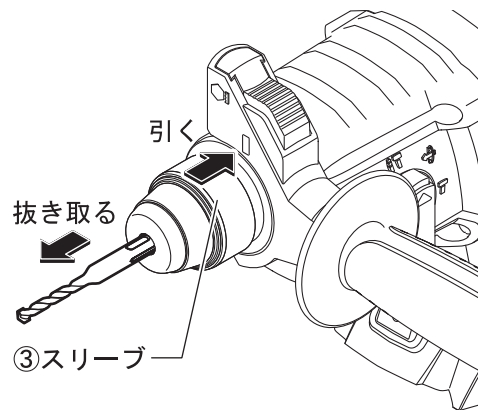
1. 先端工具の挿入部分を清掃し、グリスを塗ります。



2. 先端工具を取り付け孔に差し込み、少し回してかみ合うところを探します。

3. かみ合ったところで、さらに深く差し込み固定します。
4. 確実に取り付けられたかどうか、先端工具を引いて抜けないこと確認します。

取り外し



スリーブ③を後方へ引きながら、先端工具を抜き取ります。

● 深さゲージを取り付ける・取り外す

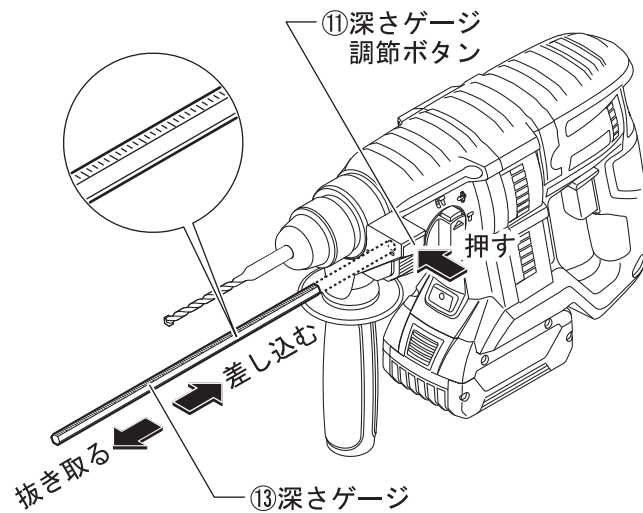
取り付け（穴あけ作業時に役立つ）

「深さゲージ調節ボタン⑪」を押しながら、深さゲージ⑬を差し込みます。

- ☞ 深さゲージ⑬のギヤ部分を上に向けて、サイドハンドル⑫に取り付けてください。
- ☞ 取り付け後、先端から押し込んで、動かないことを確認してからご使用ください。

取り外し

「深さゲージ調節ボタン⑪」を押しながら、深さゲージ⑬を抜き取ります。



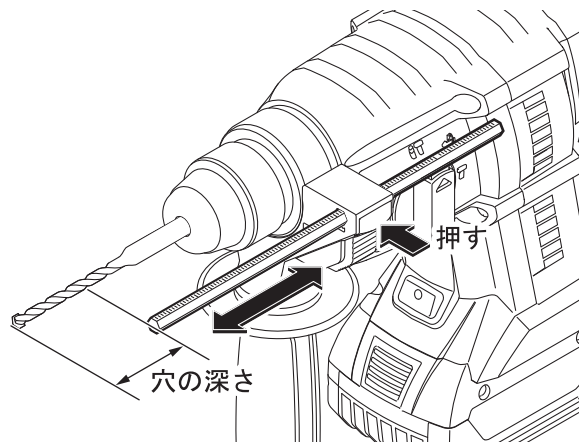
使
い
方

作業する

① 深さゲージを調節する（穴あけ作業時）

1. 「深さゲージ調節ボタン①」を押しながら、あけたい穴の深さに合わせて深さゲージ⑬を動かします。



☞ ドリルビットをツールホルダー②の後方に押し込んで、あそびのないことを確認してください。

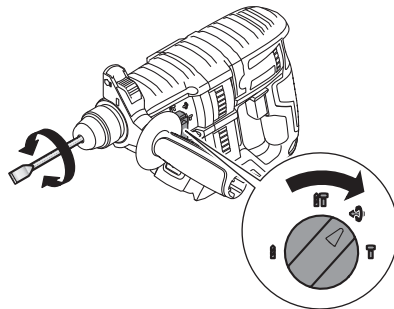


2. 位置決めが終わったら、「深さゲージ調節ボタン①」から指を離します。

☞ 深さゲージ⑬を先端から押し込んで、動かないことを確認してください。

2 破つり用先端工具の作業位置をセットする（破つり作業時）

1. 「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑤」を押しながら、「作業切り替えレバー④」を  の位置に合わせます。
2. 先端工具を回転させ、作業する場所や向きに合わせます。
「作業切り替えレバー④」を  の位置にすると先端工具は固定されます。

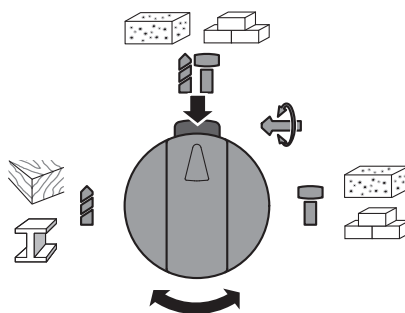


3 「作業切り替えレバー④」を作業に合わせた位置にしっかりと切り替える（次ページの図参照）

「作業切り替えレバー④」は、「作業切り替えレバーロック解除ボタン⑤」を押しながら切り替えてください。

“カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー④」が正しくセットされたことを確認してください。

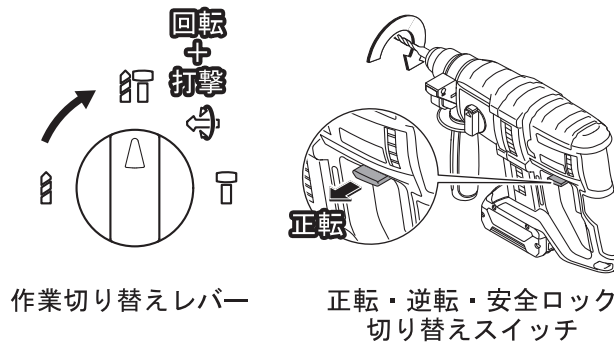
- 注意** ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー④」を切り替えてください。
「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー④」は切り替えないでください。



4 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を切り替える

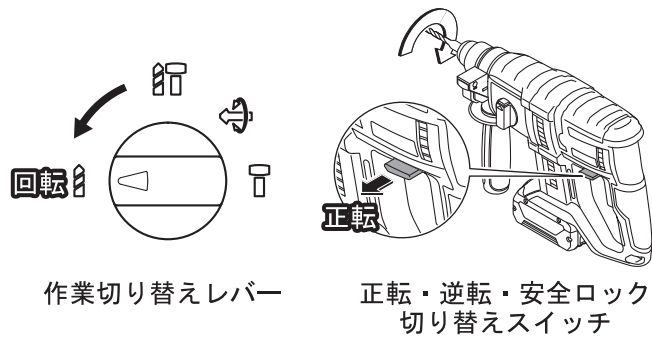
注意 ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を切り替えてください。「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」は切り替えないでください。

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ



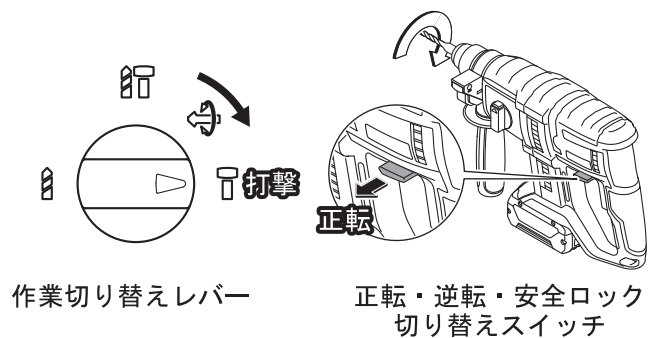
木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジの締め

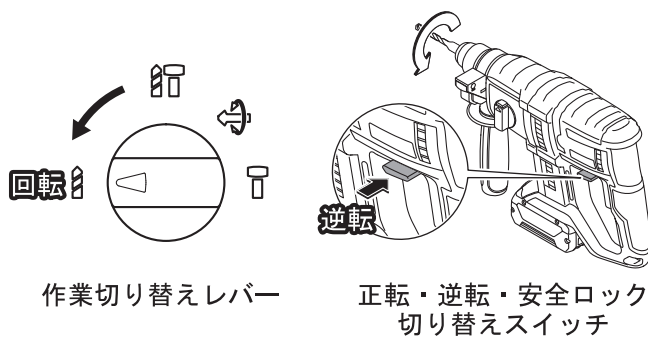


使
い
方

破つり




ネジの緩め




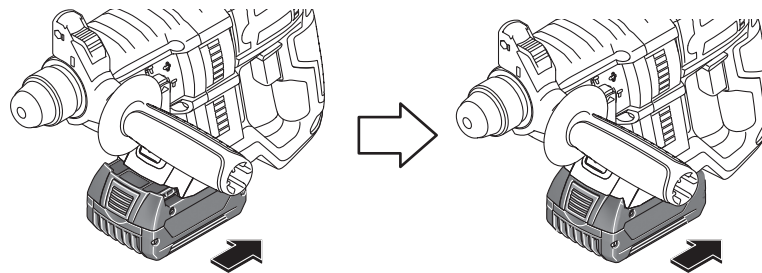
使
い
方

5 ハンマードリル本体にバッテリーを取り付ける

-  **警告**
- ◆ 指定されているバッテリー⑧のみ、使用してください。
 - ◆ 「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が安全ロックの位置（中央）になっていることを確認してから、バッテリー⑧を取り付けてください。

バッテリー⑧を、ハンマードリル本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

 本機は、「バッテリー取り外しボタン⑩」が押されただけではバッテリー⑧が外れないよう、バッテリー⑧の取り付けが二重ロックになっています。




使
い
方

6 LED ライトを点灯させる

「電子無段変速スイッチ⑥」を軽く引きこむと、LED ライト⑨が点灯します。

（このときツールホルダー②は回転しません）

暗い場所で作業をする場合は、作業前に一度ライトを点灯させると、作業位置が確認できて便利です。

 「電子無段変速スイッチ⑥」をいっぱい引き込むと、LED ライト⑨が点灯し、ツールホルダー②が回転します。

7 「電子無段変速スイッチ」を操作する



警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、ハンマードリル本体にサイドハンドル⑫を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑫をしっかり保持し、作業してください。



注意

- ◆ 作業時、ハンマードリル本体は軽く押すだけで十分です。必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。
- ◆ 先端工具が材料に引っ掛かったり、斜めに進んだりすると、過負荷クラッチの働きにより回転が止まります。ハンマードリル本体の損傷を防ぐため、引っ掛かった先端工具を引き抜く前に本体を先端工具から取り外してください。

本機には、電子セル保護システム（ECP 機能）がついております。本体が過負荷になった場合やバッテリーが過放電または高温になった場合には、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

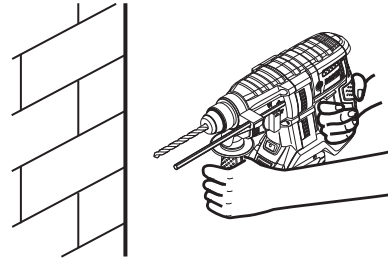
上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が停止している状態で「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込み続けると、故障の原因になります。

使
い
方

穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込みます。



- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑥」の引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。
- ☞ 止めるときは、「電子無段変速スイッチ⑥」から指を離してください。ブレーキの働きにより、あけ過ぎを防ぎます。

ネジ締め

1. 先端工具のネジ頭を溝に合わせます。
2. 「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込みます。

- ☞ 「電子無段変速スイッチ⑥」の引き込む加減で、回転数が調節できます。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直します。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「電子無段変速スイッチ⑥」を引き込んでも、回らない	バッテリー⑧が消耗している	バッテリー⑧を充電するか、交換する
	バッテリー⑧の温度が 60℃を越えている	バッテリー⑧が最適温度範囲に下がるまで待つか、交換する
	ハンマードリル本体の温度が 90℃を越えている	許容操作温度範囲内に下がるまで待つ
「電子無段変速スイッチ⑥」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“安全ロック”または、中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
穴あけなどに時間がかかる(穴があかない)	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	バッテリー⑧が消耗している	バッテリー⑧を充電するか、交換する
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑦」を“正転”の位置に切り替える
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリー⑧の寿命が尽きた	バッテリー⑧を交換する

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。

コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代 39

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野 741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



警告


◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー⑧をハンマードリル本体から取り外し、お手入れしてください。

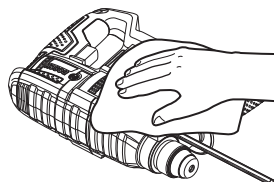
クリーニング

● 通風口やスリーブなどに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

 本体に切り粉やホコリがたまると故障の原因になります。

● 乾いた、柔らかい布でハンマードリル本体の汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



● 「バッテリー取り外しボタン」やバッテリー装着部分についたゴミ、ホコリなどを吹き飛ばす

● ツールホルダーの先端工具挿入部分を清掃する

保
お
手
入
れ
と
管

保 管

● ハンマードリルを使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、バッテリー⑧は50℃以上になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼ってください。

